

地域医療連携推進法人 南檜山メディカルネットワークについて

R4.6

【設立の趣旨】

全道を上回るスピードで人口減少と高齢化が急速に進行する南檜山圏域では、限られた医療資源を効果的かつ効率的に活用しながら、南檜山圏域における医療機関の開設者や介護事業を行う者が力を合わせ、圏域全体で将来にわたり持続可能な医療提供体制の構築に向けて取り組んでいくため、令和2年3月に「南檜山圏域の医療を確保するための行動方針」を作成した。

この行動方針に基づき、関係者が一体となって相互間の機能分担及び業務連携を進め、住民が将来にわたり住み慣れた地域で必要な医療・介護サービスを受け続けられる体制の構築を目指し、令和2年9月に道と南檜山管内の5町と民間医療法人による地域医療連携推進法人「南檜山メディカルネットワーク」を設立した。

【法人の概要】

- 知事認定日 令和2年9月1日（医療法に基づく地域医療連携推進法人）
- 医療連携区域 北海道医療構想に定める南檜山区域
- 社員 北海道、江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、奥尻町
医療法人道南勤労者医療協会、医療法人雄心会
- 役員 代表理事 鈴木 信寛（北海道病院事業管理者）
理事 各町・医療法人の長
- 主な事業 医療機能の分担・業務連携
医療従事者等のスキルアップ
医師等医療従事者の相互交流システムの構築
江差病院の医療機器の共同利用
薬品・医療材料等の共同購入
介護事業等の連携を推進するための事業

＜関係医療機関＞
道立江差病院
厚沢部町立国保病院
乙部町立国保病院
奥尻町立国保病院
上ノ国町立診療所
上ノ国町立石崎診療所
道南勤医協江差診療所
江差脳神経外科クリニック

【令和3年度の主な取組実績】

- 法人基礎調査の実施
 - ・ 法人事業の実施、推進に当たっての検討資料とするため、参加法人の医療提供体制、運営状況や課題把握のための調査を実施。
- 重点支援区域データ分析の活用
 - ・ 重点支援区域に対する国の支援メニューを活用し、圏域内のレセプトデータ、救急搬送データの分析を実施。
- 診療連携部会の開催
 - ・ 法人事業に現場の医師等の意見を反映させ、効果的で実効性の高い取組を推進することを目的として、各医療機関の院長等による診療連携部会を設置。
 - ・ 10月に第1回部会を開催。各医療機関の課題や今後の医療提供体制に係る活発な意見交換が行われた。
 - ・ 11月に第2回部会を開催。南檜山医療圏の課題等に関する意見をとりまとめ、12月の理事会において報告し、令和4年度の法人事業計画に反映された。
- 地域体験研修の受け入れ
 - ・ 札幌医科大学地域医療研究教育センターと連携し、江差病院で実習する医学生について、実習期間のうち1日を「地域体験研修」実施日とし、各町が順番に受入を担当。
 - ・ 各町は、医療、福祉施設見学のほか、名所や特徴、歴史の紹介など自町の魅力や文化、生活環境等を伝えられるよう体験コースを設定。
 - ・ 令和3年度は8人を受け入れた。